

「峰山小学校の太郎太郎踊り伝承活動の取組」

1 学校名

薩摩川内市立峰山小学校

2 学年・人数

5・6年生 15人

3 日時・場所

(1) 練習の日時・場所

平成27年2月26日 ふるさと・コミュニケーション科（6校時） 本校体育館

(2) 発表の日時・場所

平成27年3月1日 9:30～11:30 南方神社

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事について

(1) 名称

高江太郎太郎踊り（たかえたろうたろうおどり）

(2) 由来

今から500年ぐらい前に五穀豊穰を願い、田起こしの様子を劇にしたものである。県の無形民俗文化財にも指定されている。

(3) 構成等について

児童は、孫役として5・6年生が参加している。くわの形をした木をもち、「太郎太郎、はよ牛をひてけ。太郎太郎、はよ牛をひてけ。」と言いながら田を耕す。太郎役・おじいさん役・牛役の地域の方々と絡みながら、40分ぐらいの劇を行う。3月は、まだ寒いが裸足で行う。

5 保存会や地域との連携の具体

何年か前までは、児童数も多く、育成会ごとに孫役を行っていたが、児童数の減少とともに学校へ依頼され孫役の練習をふるさと・コミュニケーション科の時間を1時間使って行っている。現在5・6年生が孫役として参加している。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

学校にも孫役が使う練習用の木が準備してある。無形民俗文化財である「高江太郎太郎踊り」を伝承していくためには、孫役は不可欠である。そういうことから今度も学校で協力できることを行っていきたい。

7 取組の様子（研究発表、創作劇等）



8 参加児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【参加児童】

最初は難しく思ったが、地域の方々に教えてもらいながらやり遂げることができてよかった。また来年も参加したいと思います。

【保護者】

伝統のある地域行事に参加し、得るものが多くあったと思います。参加させてよかったです。

【教職員】

ふるさとの郷土芸能に参加することによって、地域の人々の思いを少しでも感じ取ってくれたらと思います。

【保存会】

「太郎太郎踊り」は今後も続けていきたいと思っているので、小学生の参加をお願いしたいと思います。また、参加することで、地域の人々の思いを感じ取って引き継いでいってほしいとも思っています。